



各 位

2026年2月9日

会 社 名 古河機械金属株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中戸川 稔  
(コード : 5715 東証プライム)  
問合せ先 執行役員経理部長 田近 強  
(TEL 03-6636-9502)

## 2026年3月期 通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年11月7日に公表しました2026年3月期の通期業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2026年3月期通期の連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2025年11月7日 発表)	百万円 197,500	百万円 8,000	百万円 9,400	百万円 7,500	円 銭 225.67
今回修正予想(B)	206,200	9,000	10,900	11,000	337.11
増減額(B - A)	8,700	1,000	1,500	3,500	
増減率(%)	4.4%	12.5%	16.0%	46.7%	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	201,216	9,763	9,705	18,619	510.64

#### 修正の理由

前回（2025年11月7日）発表の業績予想と比較し、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正しております。

売上高および営業利益については、全体として前回予想を上回る見込みです。産業機械部門では、大型プロジェクト案件の売上計上が翌期へずれ込む見通しであり、売上高・利益ともに前回予想を下回る見込みです。電子部門においても、窒化アルミセラミックスの販売が計画を下回って推移していることから、同様に前回予想を下回る見込みです。一方、ロックドリル部門では、欧州向けの油圧ブレーカの出荷増および円安の影響により増収を見込んでおりますが、製品不具合対策費用の発生を見込んでいることから、利益については前回予想から修正しておりません。また、金属部門については、海外相場の上昇を受け、売上高・利益ともに前回予想を上回る見込みです。

経常利益については、営業利益の上方修正に加え、為替差益の発生等を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、政策保有株式の追加売却による投資有価証券売却益の発生等を見込んでおります。

#### 2. 2026年3月期通期の個別業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2025年11月7日 発表)	百万円 7,100	百万円 1,900	百万円 1,200	百万円 2,600	円 銭 78.23
今回修正予想(B)	7,100	1,900	1,200	5,500	168.56
増減額(B - A)	-	-	-	2,900	
増減率(%)	-	-	-	111.5%	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	7,868	2,895	2,749	16,099	441.52

#### 修正の理由

前回（2025年11月7日）発表の業績予想と比較し、政策保有株式の追加売却による投資有価証券売却益の発生等を見込んだことにより、当期純利益を上方修正しております。

### 3. 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2025年11月7日 発表)	30円	40円	70円
今回修正予想		50円	80円
当期実績	30円		
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	30円	40円	70円

#### 修正の理由

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するための投資を優先したうえで、増配および中間配当の実施を検討しております。

今般、通期業績予想を上方修正したことに伴い、期末配当予想を前回予想から10円増配の1株当たり50円へ修正いたします。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上